

## 令和7年度全国学力・学習状況調査

呉市教育委員会  
学校教育課

○実施日 令和7年4月17日（木）

○対象及び教科 小学校（義務教育学校前期課程を含む。）第6学年全児童 国語，算数，理科  
中学校（義務教育学校後期課程を含む。）第3学年全生徒 国語，数学，理科

○教科に関する調査の結果（平均正答率（％））

校種	教科	呉市	全国	広島県
小学校	国語	70	66.8	69
	算数	59	58.0	59
	理科	60	57.1	59
中学校	国語	55	54.3	55
	数学	48	48.3	47

※県及び市の平均正答率については、小数点以下は公表されていない。

校種	教科	呉市	全国	広島県
中学校	理科	494	503	495

※中学校理科については、平均IRTスコアで表されている。

※IRTスコアとは、生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度，測定精度）によるのか，生徒の学力によるのかを区別して分析し，生徒の学力スコアを推定する統計理論。

**【国語】** 小学校国語及び中学校国語は全国平均を上回っている。

**【算数・数学】** 小学校算数は全国平均を上回り，中学校数学は全国平均と同程度である。

**【理科】** 小学校理科は全国平均を上回り，中学校理科は全国平均を下回っている。

# 国語

## 1 呉市と全国平均・県平均

### 【小学校（義務教育学校前期課程を含む。） 第6学年】

分類	区分		呉市	全国との比較	全国	広島県
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	83.2	+6.3	76.9	79.4
		情報の扱い方に関する事項	64.3	+1.2	63.1	63.8
		我が国の言語文化に関する事項	83.1	+1.9	81.2	82.1
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	70.2	+3.9	66.3	68.9
		書くこと	72.3	+2.8	69.5	71.7
		読むこと	59.9	+2.4	57.5	59.6
問題形式	選択式		66.8	+2.1	64.7	66.4
	短答式		83.1	+4.6	78.5	80.5
	記述式		65.3	+6.5	58.8	63.2

### 【中学校（義務教育学校後期課程を含む。） 第3学年】

分類	区分		呉市	全国との比較	全国	広島県
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	49.3	+1.2	48.1	48.0
		話すこと・聞くこと	53.5	+0.3	53.2	53.5
	思考力、判断力、表現力等	書くこと	53.4	+0.6	52.8	52.9
		読むこと	63.2	+0.9	62.3	63.0
問題形式	選択式		64.3	+0.4	63.9	63.8
	短答式		73.2	-0.4	73.6	72.3
	記述式		27.2	+1.9	25.3	27.1

## 2 呉市の分析結果及び課題改善のための方策 【 】内は内容 ( )内は問題形式

	全国と比較して、正答率の高かった主な設問等	全国と比較して、正答率の低かった主な設問等	課題改善のための方策
小学校 第6学年	○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。 【読むこと（記述式）】 ○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。 【言葉の特徴や使い方に関する事項（短答式）】	●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。 【読むこと（選択式）】 ●事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。 【読むこと（選択式）】	◇目的に応じて、必要な情報を見付ける際に、文章と図表などの情報を合わせて読んだり、複数の資料を関連付けて読んだりする場を設定する。 【読むこと】 ◇文章を読み取る際に、書き手がどのような事実や理由を事例として挙げているかを書き出したり、まとめたりする場を設定する。 【読むこと】
中学校 第3学年	○事象や行為を表す語彙について理解する。 【言葉の特徴や使い方に関する事項（選択式）】 ○相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。 【話すこと・聞くこと（選択式）】	●資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。 【話すこと・聞くこと（選択式）】 ●読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整える。 【書くこと（短答式）】	◇説明や提案等について、聞き手が意見・助言等をする場面において、資料の使い方や話し方の工夫について確かめる学習活動を行い、話す内容や目的・相手等に応じて、どのような効果があるか等交流する場を設定する。 【話すこと・聞くこと】 ◇読み手の立場に立って文章を推敲し、辞書やタブレット端末等を使って表記等を確かめ、助言等を交流する場を設定する。 【書くこと】

# 算数・数学

## 1 呉市と全国平均・県平均

### 【小学校（義務教育学校前期課程を含む。） 第6学年】

分類	区分	呉市	全国との比較	全国	広島県
学習指導要領 の領域	数と計算	62.5	+0.2	62.3	63.0
	図形	58.9	+2.7	56.2	57.1
	測定	57.4	+2.6	54.8	55.3
	変化と関係	56.6	-0.9	57.5	57.5
	データの活用	65.0	+2.4	62.6	63.5
問題形式	選択式	67.6	+0.4	67.2	67.4
	短答式	65.2	+1.2	64.0	65.1
	記述式	38.6	+3.7	34.9	36.2

### 【中学校（義務教育学校後期課程を含む。） 第3学年】

分類	区分	呉市	全国との比較	全国	広島県
学習指導要領 の領域	数と式	43.2	-0.3	43.5	42.6
	図形	45.1	-1.4	46.5	45.2
	関数	50.1	+1.9	48.2	47.7
	データの活用	58.1	-0.5	58.6	58.0
問題形式	選択式	54.8	+0.8	54.0	54.3
	短答式	51.2	-0.8	52.0	50.2
	記述式	39.7	+0.1	39.6	39.3

## 2 呉市の分析結果及び課題改善のための方策 【 】内は領域 ( )内は問題形式

	全国と比較して、 正答率の高かった主な設問等	全国と比較して、 正答率の低かった主な設問等	課題改善のための方策
小学校 第6学年	○目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。 【データの活用（記述式）】 ○平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図する。 【図形（短答式）】	●小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉える。 【数と計算（短答式）】 ●数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉える。 【数と計算（短答式）】	◇小数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、整数の加法に帰着できるのかを考察する場を設定する。 【数と計算】 ◇分数の意味や表し方を理解する際、数直線上で、0から1までが何等分されているのかに着目し、単位分数を捉える場を設定する。 【数と計算】
中学校 第3学年	○一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 $x$ の増加量に対する $y$ の増加量を求める。 【関数（短答式）】 ○素数の意味を理解する。 【数と式（選択式）】	●式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明する。 【数と式（記述式）】 ●多角形の外角の意味を理解している。 【図形（短答式）】	◇説明や証明を行う際に、適用題として問題の条件を変えることで、前の問題との違いや共通点を考える場を設定する。また、生徒自身に問題の条件を変えさせたり、結果を予想させたりする場を設定する。 【全領域共通】

# 理 科

## 1 呉市と全国平均・県平均

### 【小学校（義務教育学校前期課程を含む。） 第6学年】

分類	区分	呉市	全国との比較	全国	広島県
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	48.1	+1.4	46.7	47.3
	「粒子」を柱とする領域	52.7	+1.3	51.4	52.7
	「生命」を柱とする領域	57.6	+5.6	52.0	55.1
	「地球」を柱とする領域	68.9	+2.2	66.7	68.8
問題形式	選択式	56.5	+1.8	54.7	55.8
	短答式	72.0	+2.3	69.7	72.2
	記述式	54.8	+9.6	45.2	51.5

### 【中学校（義務教育学校後期課程を含む。） 第3学年】

問題別の平均正答率のみ示されている。

## 2 呉市の分析結果及び課題改善のための方策 【 】内は領域 ( )内は問題形式

	全国と比較して、 正答率の高かった主な設問等	全国と比較して、 正答率の低かった主な設問等	課題改善のための方策
小学校 第6学年	○乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識を身に付ける。 【エネルギー（選択式）】 ○レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現する。 【生命（記述式）】	●発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現する。 【生命（選択式）】	◇問題の解決に向けて、どのような観察・実験を行う必要があるか、児童が計画する学習活動を設定する。また、児童が計画した観察・実験を行った後、その方法が適切であったのか検証する場を設定する。 【生命】
中学校 第3学年	○身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定する。 【粒子（記述）】	●【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明する。 【エネルギー（記述）】 ●大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現する。 【地球（記述式）】	◇課題の解決に向けて、どのような観察・実験を行う必要があるか、生徒が計画する学習活動を設定する。また、生徒が計画した観察・実験を行った後、その方法が適切であったのか検証する場を設定する。 【エネルギー】 ◇生徒が時間的・空間的な見方を働かせやすくなるよう、ICTや模型等を活用したモデル実験を設定する。 【地球】